

## 2023年度口語詩句賞総評：木下龍也

作品は詩、俳句、短歌、川柳、アフォリズムなど口語であれば投稿可。選者はそれぞれに価値観の違う詩人、俳人、歌人。異種格闘技戦が繰り広げられるこの場所で継続して投稿をし、佳作となった作品から10作品をご自身で厳選し、多くの票を集めることは至難の業です。僕に同じことができるかと言われたら到底無理だと思います。それを成し遂げられた新人賞の吉沢美香さん、優秀賞の奎いう子さん、奨励賞の白野さん、桜望子さん、長谷川柊香さん、松下誠一さん、中矢温さん、こはくいろさん、本当におめでとうございます。そして、ひとまずお疲れ様でした。あなたが思う前へと楽しみながら進んで行ってくださいれば幸いです。

ただ、選者がひとり変われば、作品がひとつ変われば、結果も変わります。賞はおまけで、おまけがあればうれしいですが、それがなくなっても、書き続ける力は応募者全員がもう手にしているはずです。今回、惜しくも受賞には至らなかったみなさまも、一度だけ悔しさを噛み締めたら、顔を上げて、誇りを持って、次の作品を書き始めましょう。

下記は僕が票を入れた方と印象に残った作品です。

### 【優秀賞／奎いう子さん】

春の海一人のための降車ボタン

コスモスをくすぐりながら下校班

晩冬の螺旋ばかりの試し書き

### 【奨励賞／白野さん】

カントリーマアムのない味を  
言い合って言い尽くしてから  
渚になった

あたらしい靴下を嗅ぐと  
あたらしい匂い 春は鈍行で来る

ライターが映し出すわずかな海に  
進路希望の用紙を放った

【奨励賞／松下誠一さん】

きのうまで稲妻だった麒麟たち

こいびとの胃に数百のしらすの目

愛されているのに翼が生えている

【さいうさん】

おとうとに  
背をぬかされた  
はつゆきの朝を  
死ぬまでおぼえていたい

じだんだをうまく踏めない  
いもうとが  
抱きしめている  
かいじゅうずかん

おりおんの話をやめて  
みかづきが  
刺さったままの胸  
に、ふれてよ

【マズルカさん】

八月の日差しに焼かれて無い方の  
腕のカーブは子をいだくため

特売のたまごの殻のそばかすと  
心を通わせたくて雷雨

ピアノカをファンと鳴らせよ  
惜しみなく  
大人になってもきみはひとりだ

【汐見りらさん】

あの夏のカメラロールはやけに青  
本気の自由形はきたない

付け爪で夜と朝とを切り分けて  
明るい方をわたしにくれた

フルムーン  
ぼくらこれから  
願ったり叶ったりする  
一生かけて

【井口可奈さん】

あまりにも多いこどもを  
詰めこんだ車から  
はみだしたひだりて

遠くにもわたしがいるし、  
近くにもわたしがいるよ  
やわらかい鮎

天体を回すひとにはなれなくて  
うきわの空気ぬくのたいへん

【あおさん】

もう会えない  
人がいるっていいことよ、と  
祖母は巨峰を剥きながら言う

それぞれに怖いと思うCMがあっ  
てじゃあねにまたねと返す

風のひゅー炎のぼわあ水のじゃー  
人にはなにがなにができるの

【貴田雄介さん】

誇大広告でなくアンパンマンの  
絆創膏は無傷にも効く

幼子は水をこぼしてばかりいる  
地球は水の惑星だから

尺八の音神様がくれたから  
毎日吹いてお返しします

【浅葱さん】

バス停の名前を覚えてゆく度に  
あなたの街に  
とける気がした

羨望が纏わりついてゆく度に  
ますます君は潔癖になる

皮膚の内側の方がタトゥーだらけ  
十六のとき吐いた嘘とか

2023年3月から「口語詩句投稿サイト72h」に選者として関わらせていただき、歌人としては専門外のジャンルの作品を選評することに正直まだまだ戸惑っている状態なのですが、極力時間をかけて、みなさんの作品を見つめていきたいと思えます。今後とも渾身の作品をよろしく願います。

了